

新興感染症に挑む 看護の力

— COVID-19の経験から考える看護職の役割・コンピテンシー・組織の備え —

日時

2027.2.20 (土)

13:00 ~ 15:30

● ONLINE

オンライン
開催

趣旨

新興感染症は今後も発生が予測されており、その危機に備えた人材育成と組織づくりが重要となっています。本検討会では、COVID-19患者ケアの経験を次の新興感染症への備えにつなげることを目的に開催します。COVID-19患者ケアを経験した看護師2名の方に、それぞれの経験をもとに、患者ケアに従事するスタッフ、病棟看護師長、感染管理認定看護師・感染症看護専門看護師、看護管理者など、それぞれの立場に期待する役割やコンピテンシーについて発表していただきます。参加者との意見交換を通して、新興感染症に備えた看護実践と人材育成について考えます。

*コンピテンシーとは

知識・技能・態度・価値観を統合し、状況に応じて適切な行動をとり、成果を生み出す力。

講師・講演内容

国立病院機構 千葉医療センター 高橋 美穂 氏（看護部長）

「新興感染症に備える看護管理者の役割—COVID-19重症病棟の立ち上げと運営経験から—」

国立病院機構 名古屋医療センター 木下 紀道 氏（感染症看護専門看護師）

「不確実性の中で看護をつなぐ—新興感染症対応におけるリスクコミュニケーション—」

参加対象・募集人数

看護師全般、教育関係者
60名程度

申し込み・参加費

Peatix にて受付
会員 無料 / 非会員 500円

申し込み締切 | 2027年2月13日

※ 参加者には参加証明書を発行いたします。

お問い合わせ | 日本感染看護学会 事務局 kansen2001@jsncic.jp



お申し込みはこちら